

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【公開番号】特開2004-341037(P2004-341037A)

【公開日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【年通号数】公開・登録公報2004-047

【出願番号】特願2003-134509(P2003-134509)

【国際特許分類】

G 02 B 7/08 (2006.01)

G 03 B 17/02 (2006.01)

G 02 B 7/09 (2006.01)

【F I】

G 02 B 7/08 C

G 02 B 7/08 A

G 03 B 17/02

G 02 B 7/04 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 フォーカスレンズをオートフォーカス制御するオートフォーカス制御手段を備えた光学装置と、

前記フォーカスレンズをオートフォーカス制御にて制御するのか、遠隔指令制御にてマニュアル操作するのかを切換える第1の切換え信号入力手段と、速度制御にて前記フォーカスレンズをマニュアル操作するか、位置制御にて前記フォーカスレンズをマニュアル操作するかを切換える第2の切換え信号入力手段と、前記第1の切換え信号入力手段からの出力と前記第2の切換え信号入力手段からの出力を多重化する切換え信号多重手段と、を設けた遠隔操作装置と、を有し、

前記多重化された信号を前記遠隔操作装置より前記光学装置に伝達することを特徴とする撮影装置。

【請求項2】 前記フォーカスレンズをオートフォーカス制御手段で駆動するか、前記遠隔操作装置内の遠隔指令制御手段からの制御信号で駆動するかを切換えるための判定をする第1の切換え判定手段を設けたことを特徴とする請求項1の撮影装置。

【請求項3】 前記フォーカスレンズがオートフォーカス制御中の場合、前記遠隔指令制御手段にて遠隔指令制御が行われたか否かを判定し、前記遠隔指令制御が行われたと判定された場合には、前記フォーカスレンズを前記遠隔指令制御手段からの遠隔指令制御で駆動することを特徴とする請求項2の撮影装置。

【請求項4】 前記フォーカスレンズがオートフォーカス制御中であった場合、前記遠隔指令制御手段にて遠隔指令制御が行われたか否かを判定し、前記遠隔指令制御が行われたと判定された場合には、前記フォーカスレンズを前記遠隔指令制御手段からの遠隔指令制御で、かつ前記オートフォーカス制御に設定される以前の制御モードにて駆動する請求項3の撮影装置。

【請求項5】 第1の切換え信号入力手段の設定状態なのか第2の切換え信号入力手段の設定状態なのかを表示する状態表示手段を設けたことを特徴とする請求項1～4の撮

影装置。

【請求項 6】 前記オートフォーカス制御手段は、映像入力手段に入力された前記映像信号から映像の鮮銳度を示す鮮銳度評価値を生成する評価値生成手段で生成される鮮銳度評価値が最大になるようにモータ制御信号を生成する請求項1～5の撮影装置。

【請求項 7】 請求項1～6の光学装置は、カメラ本体に着脱可能なレンズ装置である撮影装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、自動焦点検出・合焦制御、所謂オートフォーカス制御(以降A F制御と称す)を行うテレビカメラ、ビデオカメラ、テレビレンズ、ビデオレンズなどに用いられる撮影装置に関するものである。